東京

「其の日」暮らし

タクシーのこと

一般には、「大阪はハデで、原色が多い」とは、よく言われる事。そういわれたらそんな気もするけれど、そうかなぁー？・・・・何故か素直に同意できない。東京駅のタクシー乗り場はもちろんの事、家のベランダから見えるあの派手な色のタクシー達。「あんな色のタクシー大阪では見たことないで。東京も十分ハデやんか」三年ほど前、新幹線を降りて、いざタクシーへ・・・と向かった時の印象は、「エッ、あれがタクシー ？」思わず仰天。そんな思いが根強くあったからかもしれません。そう、東京のタクシーはとても目立つ色の取り合わせ、すこぶるカラフルなのです。

大阪のタクシーは複数の会社があるのに、ほとんどが黒か黄色。たまに白も見るけれどそれも少数派。片や東京。我が家のベランダからチェックしただけでもオレンジ＋青＋白、緑＋黄色、黄色＋青、白＋ブルー、そして黒、たまーに紺色やメタリックグリーンと多種多様。大阪ではポピュラーな黒のタクシーも、もちろん見かけますが、東京では少数派の部類に入るような気がします。一度乗ったことのある黒いタクシーはビジネスマン仕様になっているようで、ビジネス雑誌が用意されていました。当然の事ですが、私でも乗れたということはビジネスマン専用ということではないようです。

タクシーを利用する時は、たいていの運転手さんと話をします。そのきっかけは、ほとんどが「大阪（関西の時もある）の人？」からです。関西弁で行き先を伝えている訳ではないのですが、微妙なイントネーションの違いから「大阪の人」とわかるようです。義母に言わせると、まったくベタベタの大阪言葉らしいのですが・・・そんなはずはないっと。ちょっとした発音だけだと思っています。お返しといっては変なのですが、私も運転手さんに「運転手さんは東京の方ですか？」と聞きます。こちらも東京の人とは限らず埼玉だったり、四国だったりといろんな所の出身の人が多いのに、みんな東京の事に詳しく、前回、取り上げた「坂」の話や、東京弁の話を教えてくれる人もいます。仕事柄質問されることが多いのでしょう。さすがはプロ。「週末に孫と遊べるのが最高に幸せ」という運転手さんもいたり。いろいろなことを教えてもらえるのは有り難いのですが、話し好きな人だと目的地を通り越しそうで、のんびり乗っていられないこともありスリル満点？です。

東京に住むようになって最初の頃は、タクシーを選ぶ基準は「小さい車種＝料金が安い」と思い、小さめの車に目星を付け乗ろうとしました。何分か待ってやっとお目当てのタクシーをつかまえて、扉の料金をみて吃驚。残念なことに、東京のタクシーはほとんどが初乗り料金は同じなのです。「座席は狭いのに同じ料金なんて・・・」とがっくりです。そ

れでも雨が降っているときなどは、「タクシーに乗れて良かったー」と安堵するのでした。

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。
（株）ファッションビジネス・御堂筋新聞